

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	環境企画係
■評価事業名称	北上ライフスタイルデザインプロジェクト			
■事業開始年度	平成26年度			
■評価事業コード	030200 - 056	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市再生可能エネルギー活用推進計画			
■事業の目的と概要	気候変動、資源の枯渇、エネルギー不足、人口減少等、今後増加する環境制約に適応した暮らしやまちづくりを実現するため、持続可能で環境負荷が少ない、ライフスタイルの確立と実装を目指し、モデル事業を実施する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	北上ライフスタイルデザインプロジェクト	市民	北上ライフスタイルデザインプロジェクト実施(展勝地/口内/岩崎)	・展勝地ライフスタイル:5/23田植え、9/27稲刈り・口内ライフスタイル:11/9染物体験・岩崎ライフスタイル:2/9トークショー・北上アカデミー(日本生産性本部主催):5/24,5/25フィールドワーク等

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	99	161	307	262	
人件費	2,628	4,121	5,149	3,430	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,727	4,282	5,456	3,692	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	職員等によるライフスタイルデザインワークショップ参加者					平成26年度:職員ワークショップ、平成27年度:民間ワークショップ

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

02	ライフスタイル活動実施回数	1回	7回	11回	10回	平成28年度：口内ライフスタイル活動、29年度：口内ライフスタイル活動・未来の暮らし方を育む泉の創造シンポジウムin北上、平成30年度：口内ライフスタイル及び展勝地ライフスタイル実施、令和元年度：口内ライフスタイル、展勝地ライフスタイル及び岩崎ライフスタイルの実施、北上アカデミー開催
----	---------------	----	----	-----	-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

口内ライフスタイル及び展勝地ライフスタイル活動の他に令和元年度は、新たに第3のモデル地区として岩崎地区で岩崎ライフスタイルデザインプロジェクトを実施、岩崎ライフスタイル地域資源を生かした北上らしい未来の暮らし方について、理解を深めることができた。

問題点・課題等

現在の活動内容と地球温暖化防止等の環境問題と結びつけるのが非常に難しく、ライフスタイルの転換の必要性は理解されても、市民の行動意識の転換には至らない。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

次期総合計画において事業の位置づけを再検討する。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了